

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校校務用パソコン整備事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校教育課				
施 策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	宮本 信一				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学校の教員	意図	事務の効率化及びセキュリティ強化を図る。
事業内容	校内ファイルサーバーの設置、セキュリティ強化、校務支援ソフトの導入、資産管理ソフトの導入、職員室等のLAN整備、校務用パソコンの計画的な更新を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成28年度から校務用支援システムの賃貸借、保守及びパソコンの整備に努めている。校務用パソコンの購入は、平成28年度から4年間で510台のパソコンを購入し、更新していく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	小学校校務用パソコン整備事業執行率	27.84	52.16	84.90	
②	校務用パソコン購入台数	142	124	167	台	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
 校務用パソコン購入は、平成28年度から4年間で510台のパソコン購入し、更新していく。
 （平成30年度まで433台）

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	29,277,407	27,240,560	30,196,497
事業費(b)(円)	28,934,157	26,904,960	29,866,897
うち一般財源	28,934,157	26,904,960	29,866,897
職員給与費(c)(円)	343,250	335,600	329,600
人役・職員(人)	0.05	0.05	0.05
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	校務用パソコンの老朽化及び教員の増加による校務への支障の状況を把握し、計画的な更新を行う。	③取組における課題(Check)	校務用パソコンの老朽化及び教員の増加による校務への支障の状況を捉えながら、優先順位をつけて更新を行う必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	計画通り167台のパソコンを購入し校務用パソコンの更新を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	校務用パソコンの老朽化及び教員の増加による校務への支障の状況を把握し、計画的な更新を行う。